

「HIDA Craft Café」

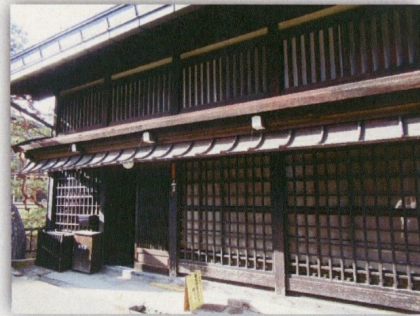
～使える文化を伝えるカフェ～

○提案

高山西高校2年

山本みこと 上口鈴奈

飛騨家具と飛騨の伝統工芸品のショールーム兼カフェ



○対象物件 大新町の家

○動機

高山祭りや景観だけでなく、

実際に使える飛騨家具と飛騨の伝統工芸品（高山の使える文化）をもっと知ってもらいたい！と考えたから。

○対象者：観光客

○現状の課題

- ・高山祭りや古い町並み、食べ物などは全国規模でテレビやSNSで取り上げられるが、工芸品は取り上げられる機会が少ないように思われる。
- ・ショールームには、興味本位ではなかなか立ち寄れない。
- ・実際に商品を使って、良さを実感する場が少ない。

○概要

高山の古い町並みを散策している途中に気軽に立ち寄れて、飛騨の伝統工芸と飛騨家具の魅力や利便性を知ってもらえる場所を造るための提案。

2Fはショールーム

○具体的な内容

※飛騨家具、一位一刀彫り、飛騨春慶、さしこ、さるぼぼ、焼き物などを展示する。

※飛騨の伝統工芸品と飛騨家具に興味を持った人のためにパンフレットや工房の紹介カードを置く。

※家具職人や陶芸家を招いて、作品の説明をしてもらう。

1Fはカフェ

※飛騨家具に触れるきっかけとして設置する。

※メニューには、普通のカフェメニューの他に、みたらしだんごや飛騨牛串などの飛騨らしい物をいれる。

※部屋に合わせて、飛騨家具、一位一刀彫り、飛騨春慶、さしこ、さるぼぼ、焼き物などをトータルコーディネートする。

ポイント1 ★飛騨の家具や伝統工芸品を一度にみられる！★

☆実際に使ってみることができ、気に入った物を購入できる。

☆家具や工芸品に触れるきっかけとなる。「お土産」ではなく、

「実生活で使える物なんだ！」という意識を持ってほしい。

ポイント2 ★気軽に立ち寄れる！★

☆ショールームという敷居が高いが、カフェなら、

年齢層や国籍問わず、誰もが利用しやすい。

☆既存の建物の外観や内装を生かした古民家カフェにして、

入りやすい雰囲気を作り、家具や焼き物などに触れてもらう。

ポイント3 ★古民家特有の雰囲気を利用して集客！★

☆高山らしい雰囲気の中（家）で、高山で作られたもの（家具・

食器）で、高山でとれたもの（食べ物）を食べるといった感覚を

味わってもらう。

☆食べ物だけでなく、雰囲気も一緒にインスタ映えをねらって、

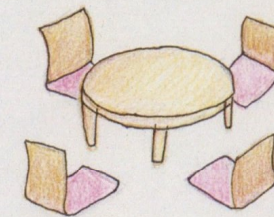
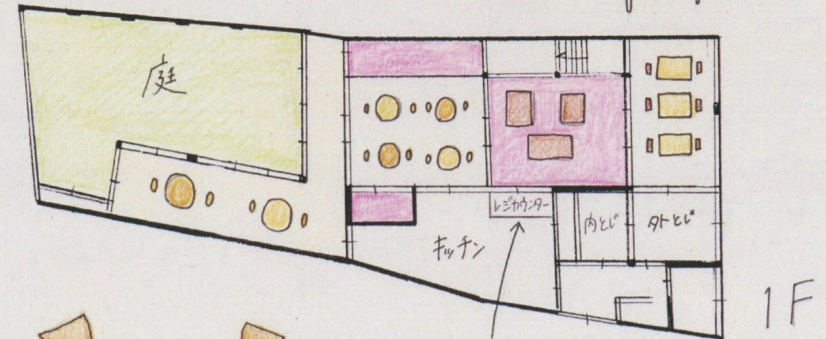
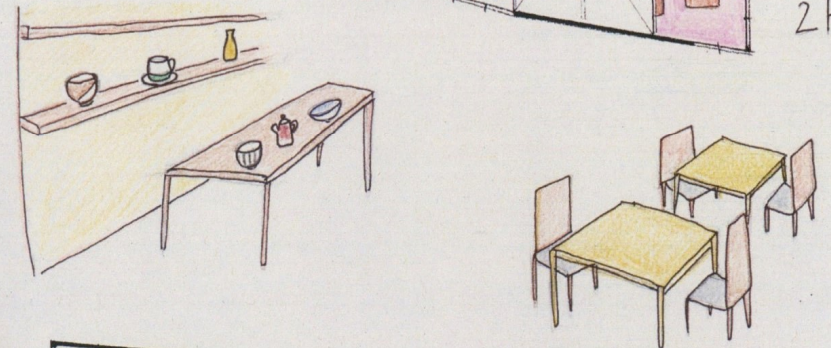
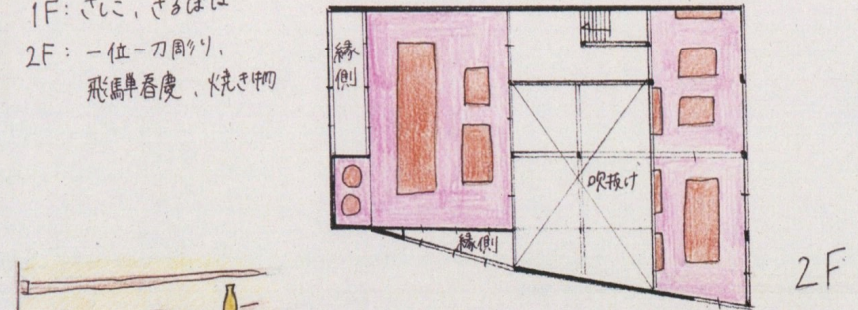
高山の家具などの魅力を伝えてもらう。

提案図

■：展示スペース

1F：さし、さるほ"ほ"

2F：一位一刃割り、
飛騨卓番、焼き物



ここにパンフレットや
工房の紹介カードを置く。